

令和元年
5月31日
発行



愛媛県立中央病院

愛媛県立中央病院広報誌

い な る び と こ の は る と ち の こ

2019年
第43号

ご自由にお持ち帰りください



よろしくお祈いします!



令和元年度は、25名の研修医が当院より医師としての第一歩を踏み出します。当院の理念は、「県民の安心の拠り所となる病院であること」です。その理念を胸に、みんなの**ハート**で患者さんを優しく包み込み、安心できる医療を提供していきますので、未永くよろしくお祈いいたします。

【発行】愛媛県立中央病院 松山市春日町83番地 TEL : 089-947-1111



ホームページは
こちらきゃん!



医療費が高額になりそうな時に利用する 「**限度額適用認定証**」をご存知ですか？

限度額適用認定証とは

健康保険加入者が対象となる「高額療養費制度」に備えられた便利な方法です。「高額療養費制度」では、医療費の自己負担額が一定額を超えると、申請を行うと、超えた金額の払い戻しを受けることができます。しかしながら、窓口で支払う際には全額を負担しなければならないため、一時的ではありますが、その負担は大きいものです。この窓口での支払い負担を軽減するために「限度額適用認定証」があります。入院で医療費が高額になりそうな時には、事前に「限度額適用認定証」を取得しましょう。

限度額適用認定証 提示による窓口負担額のちがい

(例) 1か月の総医療費※100万円、年齢40歳、月収30万円、窓口負担割合3割

提示なし

自己負担額

300,000円を負担

総医療費 1,000,000円 × 3割

高額療養費の申請を行うと、
3～4か月後に

212,570円が払い戻されます。

提示あり

自己負担額

87,430円を負担

80,100円 + (総医療費 1,000,000円 - 267,000円) × 1%

医療機関窓口での支払は自己負担限度額まで済み、
高額療養費の申請は不要になります。

※・2つ以上の病院にかかっている場合は、病院ごとに計算。
・同じ病院でも内科と歯科は別に計算。
・同じ病院でも入院と外来は別に計算。



「**限度額適用認定証**」を病院の窓口提示すれば、窓口で支払う医療費が、
高額療養費制度の自己負担限度額までとなります。

◆申請の窓口◆

- ・松山市国保の方は、市役所国保年金課、福祉総合窓口、支所、出張所の各窓口
- ・その他市町国保の方は、各市町の国保窓口
- ・社会保険の方は、お勤め先または健康保険組合

年齢、所得により限度額適用認定証対象外の場合があるけん、事前に加入している健康保険の窓口にお問い合わせしてみるきゃん。



健康保険限度額適用認定証	
平成 年 月 日交付	
被保険者	記号 番号
氏名	男女
生年月日	大正・昭和・平成 年 月 日
適用対象者	氏名 見本 男女
生年月日	昭和・平成 年 月 日
住所	
発効年月日	平成 年 月 日
有効期限	平成 年 月 日
適用区分	
所在地	
保険者番号	
名 姓 及 び 印	



8名の放射線診断専門医、1名の放射線治療専門医を含む計14名のスタッフが在籍
(令和元年5月現在)

放射線科医は普段患者さんと直接顔を合わせることが少ない診療科のため、どのような診療をしているのかあまりピンと来ない方が多いのではないのでしょうか。読者の中には、今クールのみ9ドラマ『ラジエーションハウス』で焦点が当てられていて、初めて存在を知ったという方もいらっしゃるかもしれません。

私たちが患者さんと直接お会いする場面は限られていますが、これからもより良い診断、治療に貢献できるようスタッフ一同、日々努めて参ります。

どんな診療をしているの？

主に「画像診断」、「放射線治療」、「インターベンショナルラジオロジー（IVR）」を担当しています。

画像診断

CT、MRI、核医学（PET 含む）、マンモグラフィーなどの画像を詳しく観察して病気を診断し、読影レポートとして各診療科へ報告しています。画像の撮影は診療放射線技師が行いますが、私たち放射線科医は検査に必要な指示や、検査を安全かつ円滑に行うことができるようなサポートなども行います。

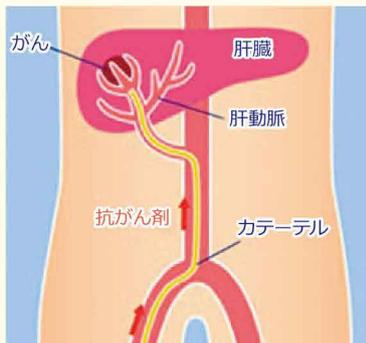
放射線治療

放射線を患部に当てることによってがん治療を行います。臓器温存を目指すピンポイント治療から、化学療法や IVR の併用による進行がんの治療などを行っています。

インターベンショナルラジオロジー（IVR）

英語表記は「Interventional Radiology」、日本語では「画像下治療」と訳されます。X線やCT、超音波などの画像診断装置で体の中を透かして見ながら、細い医療器具（カテーテルや針）を入れ、標的となる病気の治療を行います。

IVR は、外科手術のように体を切り開くことなく、体の奥にある臓器や血管の治療ができるため、患者さんの体への負担が圧倒的に少ないという特徴があります。処置後の傷もほとんど残りません。また、血管の詰まりや出血、がんの治療、CTガイド下生検・ドレナージ（膿の排出）など幅広く対応しています。



▲肝臓がんに対するIVR治療のシエーマ※
※カテーテルを記すときに利用する絵図のこと



▲血管撮影室でIVRをしている様子

【治療例】

がん患者さんの場合：血管をたどって肝臓などの臓器に抗がん剤を入れたり、スポンジのようなものを詰めてがんの栄養がいかないようにします。

交通事故などで大量出血した患者さんの場合：血管に造影剤を流すことで、血液が漏れている場所（出血部位）を探し当てることができます。そして、そのままカテーテルで出血部位までたどり着き、すぐに止血することができます。

当院の
ドクターを
紹介します

ドクターズカルテ

歯科 久野 匡平先生

Doctor's Karte



▲外来診察室

高校卒業以来 20 数年ぶりとなりますが、2011 年 4 月より松山に戻り歯科で勤務しています。愛媛県は温暖な気候で平野部では雨雪が少なく、過ごし易いところだと実感しています。歯科外来では、放射線・化学療法中の患者さん、手術前後の口腔管理及び口腔外科疾患を中心に診療を行っており、丁寧な説明や迅速な対応、適切な処置を日々心掛けています。

帰宅後は子ども 2 人の遊び相手をし、疲れさせて寝てもらおう仕事 awaits しており、日々が目まぐるしく過ぎていきます。休みの日には早朝から夕方まで釣りに出かけ、ボートを借りて、自然の中で竿を振っています。デカイのを狙いますが、なかなか難しく歯科治療同様奥が深いです。

今後も尽力していきますので、よろしくお願いいたします。



▲休日は南予のダムにて釣りに没頭



▲41cm のブラックバス

当院の
研修医を
紹介します

Resident

2 年次研修医
山下 美奈先生

興味関心があることは?

小さい頃から色々な楽器を演奏するのが好きなので、今年度は新しくフルートを買って、挑戦してみようと思っています。

日常気をつけていることは何ですか?

体調管理です。1 年目は体調を崩すことが多かったのですが、最近は、食事はバランスよく、野菜は 1 日 350g をとるように頑張っています。また、やわらかい布団で十分に睡眠をとるように心掛けています。

今年の目標は何ですか?

医師として、専門知識、技術の習得に励むことも重要ですが、その土台となるジェネラルマインドを磨くことが、研修医の段階では非常に大切なことだと思います。2 年目の研修でも、総合的に診る力を身につけることができるよう、色々な事にチャレンジし、経験を積んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



▲ HEARTROID® を使って冠動脈形成術のトレーニング中



▲道後公園でお花見中



病院の仕事 検査部・病理診断部・輸血部

検査部長 木藤医師



病理診断部長 前田医師



輸血部長 名和医師



検査部では検査の精度・診断力の向上、及び新規検査の導入などに向けて、定期的な勉強会の開催や学会への積極的な参加などに取り組んでいます。また、各分野のレベルアップのための各種認定資格を取得し、患者さんに安心して質の高い医療を受けていただくために日々努力しています。



3階 検体分析検査室

生化学検査



肝・腎機能等、各臓器の働きに関する酵素やホルモン、脂質・糖尿病・肝炎・梅毒・薬物等の分析をしています。

血液検査



白血球数や赤血球数、血小板数、顕微鏡で血液細胞を観察・分類、止血などの働きに異常がないか調べています。

一般検査



尿・便・髄液などの検査、尿中の赤血球、白血球などの細胞や細菌・異常細胞がないか調べています。

3階 病理検査室



組織、細胞、体液中にがん細胞があるかどうか、病気の診断を行っています。遺体の解剖も行い、臨床診断の正確性、治療効果判定の診断もしています。

3階 輸血室



輸血が安全に実施できるように、血液型等の輸血関連検査と血液製剤の管理、及び移植に関わる検査を行っています。

3階 微生物検査室



起炎菌の検出、感染症原因菌の決定、病原因子の証明、化学療法に有用な情報の提供を行っています。

2階 中央採血室



看護師と検査技師が外来患者さんの採血業務を行っています。

2階 生理機能検査室



循環(心臓)機能検査、呼吸(肺)機能検査、脳・神経機能検査、視覚(眼)・聴覚(耳)検査、超音波(心臓・腹部・血管・表在)検査等を行っています。

2階 エコー検査室



当院検査部は2017年12月7日に国際規格「ISO15189」の認定を取得しました。





転入・転出医師 (H31.3.31 ~ R元.5.31)

転入

所属	氏名	専門
副院長	鶴岡 高志	内科 循環器科
救急科	二宮 鴻介	救急一般、集中治療
麻酔科	濱田 泰輔	麻酔一般
麻酔科	田中 聖也	麻酔一般
産婦人科	井上 翔太*	産婦人科一般
産婦人科	中野 志保	産婦人科一般
小児科	井上 真依子	小児血液・腫瘍、小児一般・保健
小児科	楠本 岳久	小児一般
小児科	吉松 卓治	小児一般
小児外科	舩津 康孝	小児外科一般
消化器内科	安達 朋子	消化器疾患
消化器内科	永松 賢祐	消化器疾患
消化器外科	古手川 洋志	下部消化管外科、内視鏡外科
消化器外科	岩橋 衆一	消化器外科全般
消化器外科	本庄 真彦	消化器外科全般
消化器外科	神崎 雅之	消化器外科全般
呼吸器外科	安達 剛弘	呼吸器外科一般
血液内科	橋田 里妙	血液全般
血液内科	兵頭 和樹	血液全般
血液内科	森 正和	血液全般
放射線科	小岩原 元	画像診断全般、腹部画像診断
放射線科	徳増 明文	画像診断全般
放射線科	河内 義弘	画像診断全般
放射線科	三橋 遼太	画像診断全般、放射線治療
腎臓内科	村上 太一	腎疾患全般、血液浄化療法
泌尿器科	二宮 郁	尿路腫瘍、内視鏡手術
泌尿器科	柳原 豊	尿路腫瘍、内視鏡手術、排尿障害
泌尿器科	宇都宮 聖也	泌尿器一般
糖尿病・内分泌内科	宮内 省蔵	糖尿病・内分泌代謝疾患
糖尿病・内分泌内科	宮崎 万純	糖尿病・内分泌代謝疾患
心臓外科	稲荷 真愛	心臓血管外科
血管外科	瀬尾 明彦	血管外科
整形外科	松本 和寛	整形外科一般、脊椎外科
整形外科	石丸 泰光	整形外科一般、関節外科
整形外科	伊藤 輝人	整形外科一般
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	原 和也	耳鼻咽喉科一般
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	相原 菜	耳鼻咽喉科一般
眼科	大熊 真一	網膜硝子体疾患、白内障
精神科	佐尾 知子	一般精神医学
形成外科・顎顔面外科	土居 未歩	形成外科全般
皮膚科	吉田 諭	皮膚疾患全般
漢方内科	山岡 傳一郎	漢方・鍼灸全般、総合診療
総合診療科	水本 潤希	内科一般

転出

所属	氏名
副院長	中村 光士郎
センター長	越智 博
センター長	河野 兼久
麻酔科	原田 佳実
産婦人科	加藤 宏章
新生児内科	田手 壮太
小児科	河本 敦
小児科	地行 健二
小児科	友松 佐和
小児外科	鳥井ヶ原 幸博
消化器外科	大野 吏輝
消化器外科	金本 真美
消化器外科	徳田 和憲
消化器外科	宇都宮 大地
消化器外科	相原 法昌
消化器外科	新恵 幹也
消化器外科	上田 和典
呼吸器内科	佐伯 和彦
呼吸器外科	牧角 倫之介
放射線科	高門 政嘉
放射線科	横井 敬弘
放射線科	高岡 友紀子
泌尿器科	藤方 史朗
泌尿器科	中島 英
泌尿器科	廣田 圭祐
糖尿病・内分泌内科	中口 博允
糖尿病・内分泌内科	上田 晃久
神経内科	近藤 総一
循環器内科	井関 洋成
心臓血管外科	原井川 果歩
整形外科	小西 義克
整形外科	高須 厚
整形外科	青木 一将
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	中田 貴大
眼科	小林 武史
皮膚科	八束 和樹
総合診療科	清水 元気
総合診療科	大野 篤志
総合診療科	鶴田 寛二
内科	風谷 卓郎
内科	中岡 裕

※H31.4.1 ~ R元.6.30の間、同診療科、
同姓同名の医師が在籍しています。

愛媛県立中央病院の理念

県民の安心の拠り所となる病院であること

愛媛県立中央病院の基本方針

- 1 高度先進医療とともに、標準的で良質な医療を提供する
- 2 安全な医療の提供に努める
- 3 愛媛県の医療水準の向上に努める
- 4 働きやすく、成長できる環境を職員に提供する
- 5 健全な経営基盤を確立する

患者さんの権利と責務

医療は患者さんと医療者との信頼関係のもとに行うことが大切です。このため愛媛県立中央病院では、次のような患者さんの権利を尊重するとともに、協力もお願いしています。

- 1 医療の中で人としての尊厳が保たれる権利があります
- 2 検査や治療において十分な説明を受け、セカンドオピニオンを求め、その選択には自ら決定をし、かつ医療者に意見を述べる権利があります
- 3 診療に関する個人の情報を知ることができ、また保護される権利があります
- 4 自らの健康に関する情報を正しく医療者に伝える責務があります
- 5 病院内の秩序や医療者の指示を守る責務があります

スタッフの笑顔と癒し空間をご提供中!! 理美容室 ビーサポ

当サロン「ビーサポ」は理美容室として、診療棟と管理棟の間にある便利施設棟1階にあり、ゆったりとくつろげる癒しの空間づくりを心掛けています。

入院中の患者さんはもちろん、外来の患者さんやそのご家族、ご近所にお住まいの方など、どなたでもご利用いただけます。また、車椅子の患者さんも車椅子のままご利用いただけるスペースを用意しています。

外来の患者さんからは、「散髪のためにわざわざ出かけなくても病院で出来るのとっても便利」とおっしゃっていただいています。

入院患者さんで、ご来店が難しい方には病棟への出張サービスを行っており、ベッドでのご利用も可能です。どうぞお気軽にお電話下さい。

また、当サロンはウィッグ(医療用かつら)の取り扱いも行っており、店内には試着スペースも設けています。お気軽にお声かけください。「気持ち良かった」、「スッキリした」、「癒された」など、たくさんの方々に喜んでいただけるようスタッフ一同、心よりお待ちしております。



▲理容スペース
(座り心地の良い椅子)



▲車椅子利用スペース



▲ウィッグ試着スペース



◆メニュー◆

	(男性)	(女性)
・カット	¥1,100	¥1,600
・シャンプー	¥1,100	¥1,100
・お顔剃り	¥1,100	¥1,500
・カット&シャンプー	¥2,200	¥2,700
・カラー	¥2,500	¥3,500~

【営業時間】月~金 9:00~19:00 土曜日 11:00~19:00

【定休日】日、祝、年末年始

【スタッフ】店長 西岡、吉村

【電話】089-993-5437

自分で守ろう! 自分のからだ♡



桜はソメイヨシノから八重桜、木々は新緑の季節となりました。そして、新しい元号が「令和」と決まり、皇位継承も5月1日に行われました。新たな時代の始まりです。人々が美しく心寄せ合う中で文化は花開くという思いが込められた年です。どんなこともすべて受け入れ、前向きに歩んでいきましょう。

さて皆さま、今、日本は高齢化社会にどう立ち向かうか考えていかなければならない状況です。私たち自身が、病気やけがをしないように健康を維持する努力をしなければなりません。

しかし、年齢を重ねると、身体の使い過ぎによる痛みや体力の低下、記憶力の低下など、さまざまな能力の低下が生じてきます。それを自覚して対処するかしないかによって、日々の過ごし方も変わってくるかもしれませんね。自分自身が安全に過ごすためには努力も必要です。

ここで、安全に日々の生活を過ごしていくため

のヒントをひとつお伝えします。

まずは、足腰を日頃から鍛えておくこと。ドンドン運動をしなさいというわけではありません。自分のペースで歩くこと。下半身には全身の約3分の2の筋肉が集まっていますので、歩くことによって多くの筋肉を動かし、活性化させることができます。歩く効果は他にもあって、筋肉を動かす指令を出している脳も血流が増え、記憶力や思考能力が上がったり、認知症の予防になるとも言われています。また、散歩をすると気分転換になったり、野の花を見ることで季節を感じたりと心豊かに過ごすこともできます。

転倒して骨折したりしないためにも、歩くことを心掛けてください。それが、まずは皆さん個々の安全を守る近道ですよ。



医療安全
管理部だよ!
No.39

連携医療機関紹介 ～第14回～

医療法人 衣山クリニック

- 所在地 松山市衣山2丁目2-25
- TEL 089-922-6336 ■FAX 089-922-6366
- 診療科目 泌尿器科（人工透析）
- 病床数 入院 16床/透析ベッド 57床
- 外来診療時間 休診日 水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00 (受付は8:30から11:30まで)	○	○	○	○	○	○ 12:30まで	×
14:00～17:30 (受付は13:30から17:00まで)	○	○	×	○	○	×	×



【病院の概要・特徴】昭和61年7月、三津エリアに開業し、33年目となる有床診療所です。医療レベルは、常に高くありたいと心掛ける泌尿器科専門クリニックです。

医師2名、看護師22名、医療事務5名、管理栄養士1名、第一種ME技術実力検定試験を持つ技士をはじめ臨床工学技士8名で、約140名の透析患者さんに安心して治療を受けていただいています。

臨床腎移植学会認定医による腎移植に関する相談、移植後の管理についても行っております。地域の総合病院や専門病院と密接な医療連携を行い、患者さんとそのご家族に寄り添う透析クリニックとしての役割を果たします。

医療法人幸泉会 産科婦人科ばらのいずみクリニック

- 所在地 松山市和泉南1丁目7-10
- TEL 089-956-6002 ■FAX 089-956-6004
- 診療科目 産科 婦人科
- 病床数 12床
- 外来診療時間 休診日 水曜午後・土曜午後・日曜・祝日・年末年始

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00 (受付は11:30まで)	○	○	○	○	○	○	×
15:30～18:30 (受付は18:00まで)	○	○	×	○	○	×	×



【病院の概要】平成26年7月、はなみずき通りに開院した有床診療所です。分娩についてはソフロロジー法を採用し、母乳育児も大切にしています。医療系建築物として四国で初めてグッドデザイン賞を受賞した施設や、数々の料理の大会で受賞歴がある料理長によるおいしい食事も好評です。

【病院の特徴】県立中央病院を始め愛媛大学医学部附属病院、倉敷中央病院といった基幹施設での産科や婦人科、不妊治療の経験を踏まえて安全で安心な医療を提供するとともに、臨床遺伝専門医として遺伝相談にもあたっています。患者さんへの手厚いケアのため、常勤産婦人科医師2名（うち女性医師1名）や小児科医師を含む複数の非常勤医師、助産師16名、看護師8名（パート職員等含む）、胎児評価のできる日本超音波医学会認定の超音波検査士等、この規模としては多くの職員が在籍しています。



当院は、平成22年10月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を随時ご紹介させていただきます。（紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。）

